

# 漁海況情報

平成 23 年 6 月 15 日 第 7 号 (通巻 475 号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

TEL : 0837-26-0711 FAX : 0837-26-1042 Mail : a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

## 【マアジ漁況予報】

6-9 月のマアジの漁況は、15~25cm の 1 歳魚主体で、前年、平年 (過去 5 年の平均値) を下回るでしょう。

\* 平年並み: 漁獲量平均値の 80~120%, 平年を上回る: 120%以上, 平年を下回る: 80%以下

### 〈予報の根拠〉

- ① 山口県のマアジ漁獲量は、一義的に対馬暖流系群マアジの資源量の影響を受けていると考えられます。そのマアジ資源量は、中位で横ばい傾向にあると判断されています。
- ② 漁獲量の変動には、水温などの海洋環境、小型いわし類などの餌料環境なども関与していると考えられます。6 月上旬の水温は低めで(図 1)、小型いわし類も少なく(図 2)、マアジの漁場形成条件の良くない状態が続いています。長崎県総合水産試験場は、5-9 月期のカタクチイワシ漁況について、前年・平年を下回るとの予報を発表しています。

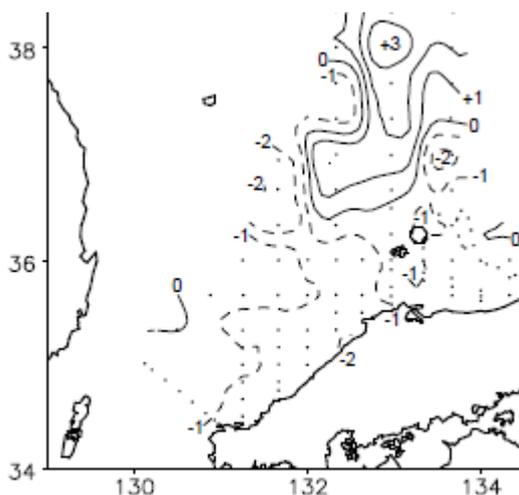


図 1 日本海南西海域における 6 月上旬の 50m 水温偏差。点線は平年より低い海域 (日本海漁場海況速報 (日水研) より抜粋)。

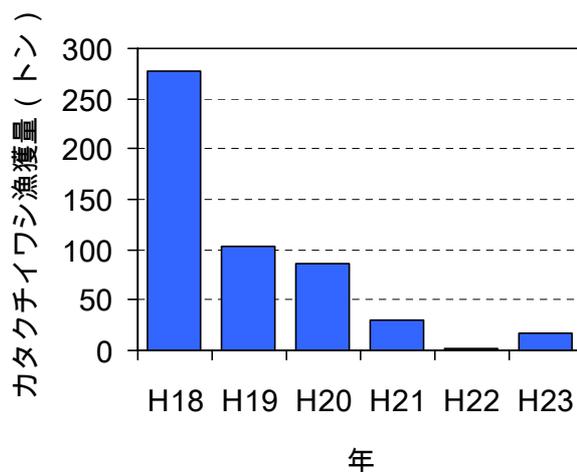


図 2 湊地区におけるカタクチイワシ (3~5 月) の漁獲量。

- ③ 山口県における中型まき網による3～5月の漁獲量は、298トンでかなり低い水準(前年比52%、平年比42%)でした(図3)。また、近県(長崎県、福岡県など)も同様に不漁です。

山口県では、初漁期(3～5月)における漁獲量と年間の漁獲量との間に正の相関関係がみられます(図4)。今期の初漁期漁獲量をもとに、年間漁獲量を推定すると、1ヶ統あたりで257トン(全県での推定値が約2,000トン、H9年以降で最低値)になりました。

- ④ 今後は水温の上昇とともに、盛漁期に入り、本県沿岸においてマアジの漁場が形成されると考えられます。しかし、小型いわし類の出現状況によっては、漁場がうまく形成されないかもしれません。

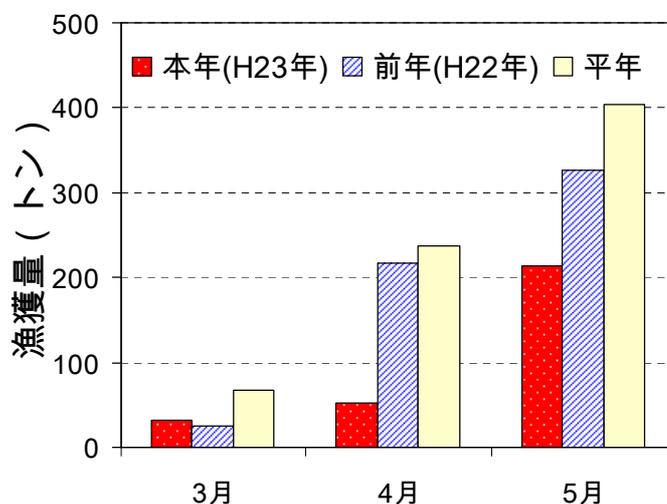


図3 中型まき網による3～5月のマアジ漁獲量

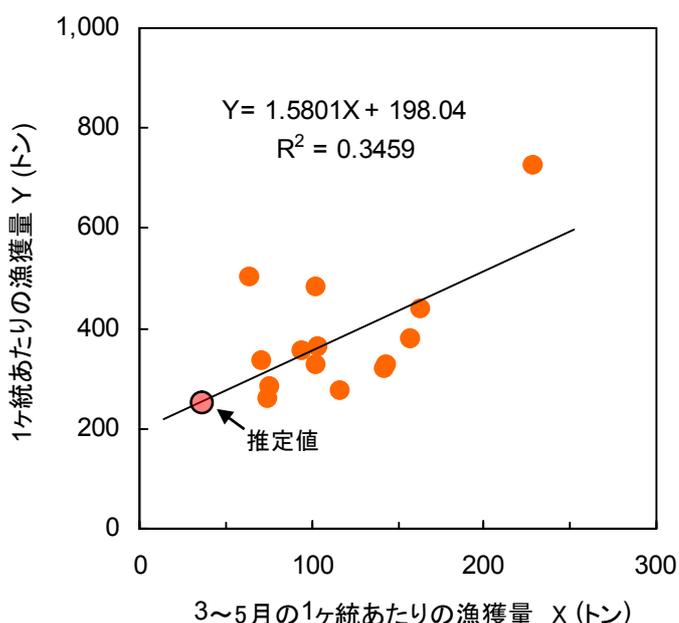


図4 初漁期のマアジ漁獲量と年間漁獲量の関係